

☆放課後子ども教室☆

先日開催された小学校の運動会を見に行ってきました。晴天のもと、勝っても負けても最後まであきらめず走り抜いた子どもたち。きっとたくさん練習したんだろうな、ということが伝わりとても感動しました。学校やまちの行事は、放課後の時間とはまた違った子どもたちの一面が見られる貴重な機会です。頑張る子どもたちに元気をもらいました。

新1年生の参加が始まって1か月が過ぎました。すっかり活動にもなじみ、2・3年生に負けず、元気に体育館やグラウンドを駆け回っています。5月後半のプログラムでは、ジャムを使って味付けをしたクリームをくるんだクレープづくりや、外でケイドロや缶けりをしたり、身近な自然に触れるプログラムを行いました。クレープづくりは、子どもたちからのリクエストで企画したプログラムです。イチゴやブルーベリーなどのジャムの中で、一番人気はハスカップ。さすが厚真っ子です。今回は地元産の土居ハスカップ農園さんのジャムを使用しました。ボウルについたジャムまできれいにペロリと平らげる様子が、とても可愛らしかったです。5月後半は気温が高い日も多く、外で遊ぶには良い日和でした。かくれんぼとオニごっこを合わせたケイドロや缶けりは、子どもたちにも人気です。缶けりのルールが低学年には少し難しかったようですが、習うより慣れろと何度か繰り返しているうちに少しずつ理解が進んでいきました。自然体験プログラムでは、学校の周りにある木の葉っぱに注目。松の葉のような小さな葉っぱから、天狗のうちのわのようなハリギリの葉っぱまで、大小さまざまな木の葉を集めました。自然の中にある植物をよく見ることで、身近な自然に対する関心や「あれはなんだろう？」と興味を持つ好奇心の芽を育てていきたいと思っています。



6月前半のプログラムでは、放課後ミニ実験と題し、大きなシャボン玉づくりに挑戦しました。昨年も割れにくいシャボン液を手作りして挑んだのですが、なかなか大きなものができませんでした。今年はより強度のあるシャボン液に改良し、シャボン玉をつくる道具もうちわの骨組みを切り外したものを使用しました。結果は見事、リベンジ成功！子どもたちの顔の2倍以上もある大きなシャボン玉をつくることができました。天気や活動時間の関係もあり、なかなか十分な遊び時間を確保できなかったのは残念でしたが、短い時間の中でも子どもたちが喜んで遊んでくれたことが嬉しかったです。

毎月のプログラムをつくる時、思い浮かぶのは子どもたち一人一人の顔です。こんなことをしたら楽しんでくれるかな、今だったらこの活動にもチャレンジできるだろうか、と子どもたちの遊んでいる姿をイメージしながら企画を考えます。そして、想像した通り、みんなが楽しんでくれたら本当に幸せな気持ちになります。子どもたちの「今日も楽しかった」という一言は、私たちスタッフにとっていちばんのご褒美です。さて、来月はどんなことをして子どもたちと遊ばしましょうか。

